

2015年度

事業報告書

公益社団法人 岡山青年会議所

2015年度スローガン

JCI スローガン

Be Better.™

公益社団法人日本青年会議所 スローガン

美しく先駆けよう！
すべては未来を生きる人のために

公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会スローガン

地域資源を活かす
自立自活した中国の再興

公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会スローガン

郷土愛溢れる
自立自活した岡山の再興

公益社団法人岡山青年会議所スローガン



〔目 次〕

- I 事業報告 3
 - 理事長、副理事長、専務理事、常任理事、監事
- II 組 織 8
 - 1. 会 員 8
 - 2. 組 織 図 10
- III 出向者報告 11
- IV 委員会活動報告 17
- V 会 議 19
 - 1. 総 会 19
 - 2. 理 事 会 20
- VI 例 会 23
- VII 諸 事 業 24
- VIII 褒賞関係 25



基本理念 創立65周年を迎える。歴史と伝統を継承し、若者らしく時代に先駆け、新たな挑戦を恐れず、この先に続く道を歩んで行こう。そして、真にありたいまち・おかやまの実現に向け、我らの使命を果たそう。

基本方針 礼儀礼節を重んじ、利他の精神を持ち、心身を厳しく育てることで、どんな困難にも屈しない気骨をもつ自律したリーダーとして成長しよう。共に切磋琢磨し、真に求められる存在となろう。

真にありたいまち・おかやまの実現に向け、またおかやまを愛して止まない市民を一人でも多くつくるため、若者らしく新たな挑戦を恐れずに時代に先駆け、真に地域から求められる存在となり、運動を展開していこう。

一期一会の精神をもってお互いの思いが交わる最高の「おもてなし」をし、気づきを得る貴重な空間を創出しよう。コミュニケーションを持って相互理解を確立することで、私たちの存在や活動、思いを正しく伝え広めよう。

65年間培った組織力で、未来のおかやまを背負える真の公益社団法人を確立し、自己の成長から発信できる高い誇りと強い信念をもって、真に求められる組織を目指そう。



I 事業報告

理事長 久松 朋史

2015年は「真歩 ～ありたい未来を創るために～」をスローガンに掲げ、活動して参りました。岡山青年会議所は創立65周年の節目を迎える年として、これから私たちが真に地域から求められる団体としてどのような道を歩まねばならないか、メンバー全員で思いをひとつに歩みださなければならないと考え、様々な運動を展開して参りました。

まちづくり事業は、創立65周年記念講演会として宇宙飛行士の毛利 衛氏をお招きし、多くの子供たち、そしてその子供たちを見守る大人たちに向け、夢を信じて挑戦することの大切さについてご講演していただきました。キッズビジネスパーク in 岡山では、昨年より募集人数を大幅に増やして開催しました。子供たちが職業体験事業を通じて、将来なりたい職業、なりたい自分を考える一助になったと考えます。これらの事業は、次世代を担う子供たちが自分の将来像を描き、夢に向かって挑戦することの大切さについて考え、その子供たちを地域全体が支えていくことの重要性を伝えることにつながったと確信しております。第22回うらじゃでは、2日間とも晴天に恵まれ、多くの踊り子、ボランティア、そして観客が一体となった素晴らしいまつりを開催することができました。イオンモール岡山がオープンして初めてのうらじゃでしたが、最後まで大きな事故も無く、無事に終えることができました。この大きなまつりは、郷土岡山にとって貴重なたからになっています。規模が年々拡大しており、観光資源として、また、中心市街地活性化の一助とする為にも、桃太郎大通りでの開催を粘り強く求めていくことが必要であると考えています。

岡山青年会議所のまちづくり事業は、岡山に必要なことを考え、若者らしく新たな挑戦を恐れず、時代に先駆け、地域に良い影響を与えるものでなくてはなりません。65年の歴史と伝統を継承し、そしてより洗練された組織へと進化し、郷土岡山の発展の原動力となるよう、期待しています。

一方で、近年の岡山青年会議所の課題は、会員の減少、そして在籍年数が短いことによる不易流行の継承です。会員の減少については、本年前後期通じて18名の新会員を迎えることができ、2年連続の総人員増加を達成することができました。これは、特別会員の皆様の多大なるご支援、そして現役メンバーが問題意識を共有し、取り組みを強化したことによる成果だと考えています。引き続き更なるメンバーの拡大を続けていく必要があります。同時に、メンバーの在籍年数が短くなることにより、岡山青年会議所の修練・奉仕・友情を学ぶ時間が短くなってきています。近年の岡山青年会議所の研修は、時代の流れとともに、目的は変えず、手法は流行を意識して変化して参りました。組織は進化と継承が重要であると考え、今後も岡山青年会議所でしかできない唯一無二の経験を次の世代に引き継ぐべく、更なる会員拡大、LDの質についての向上について精進し、組織自体の更なる進化につなげる必要があると考えています。

最後になりますが、多大なるご支援をいただきました特別会員の皆様をはじめ、関わっていただいた全ての皆様に心から感謝を申し上げます。また、現役メンバーの皆様にとっては、自らが望むこの団体、そして所属する自分自身のありたい姿を通じてこのまちの未来像について共に考えることができたこと、改めて感謝申し上げます。そして、宮武専務理事には、1年間支えていただいたことに特に感謝を申し上げます。2015年は、全てが素晴らしい時間でした。岡山青年会議所が今後ますます発展すること、皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げ、事業報告とさせていただきます。



副理事長 佐野 範一 (会員研修委員会 委員長)

久松理事長のご指名により、2015年度ひとづくり室担当副理事長、兼会員研修委員会委員長の大役を拝命し担当させていただきました。岡山青年会議所が大切にしている「ひとづくり」を担うにあたり、我々が大事にしている不易と、社会情勢など時代の趨勢による流行を常に意識し、目的は変えず相応しい手法を予定者段階より模索し、研修を行って参りました。

前期6名、後期12名の大切な新会員をお預かりし、まずは青年経済人としてのマナーや礼儀、考え方を身につける為に新会員勉強会を開催しました。前期・後期それぞれ6回、講師をお招きしての会員研修委員会を開催し、岡山青年会議所での活動意義、ひとづくりの礎となる気づき、青年会議所を経験することで得られる新たな価値を知ることで、新会員が成長することができたと考えています。3分間スピーチでは、まずは自分と向き合い、青年会議所に入って何を学びたいか、青年会議所を通じてどんな自分になりたいかを考えることで、自らが進む道が鮮明になったと感じています。次に新会員同士が全員で課題に取り組み、団結して困難に立ち向かい解決するプログラムを実施しました。結果、通常では得ることのできない絆をつくり、感動経験を積むことができたことと確信しています。研修期間の集大成としてLOMサービス事業の企画・設営することで、岡山青年会議所の事業の組み立てを通じて組織の動かし方を学び、おもてなしや他に対する気遣いの大切さを知り、リーダーとして魅力的な人間に成長する糧となったことと確信しています。

今年の研修プログラムを通じて新会員は濃密で貴重な時間を過ごすことにより、かけがえの無い同期の絆を得て、JCメンバーとしての基礎を培うことが出来ました。この経験は、これからの青年会議所活動はもちろん、その後の人生においても大きな影響を与え、新会員はもちろん、研修スタッフも大きな成長を得ることが出来たものと確信しております。

最後になりますが、特別会員の皆様、LOMメンバーの皆様、委員会メンバーにこころより感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



副理事長 上 神 健 治

本年度、久松理事長が掲げられた「真歩～ありたい未来を創るために～」のスローガンのもと、まちづくり室担当副理事長として一年間活動させていただきました。

磯島委員長率いる「真にありたいまち・おかやま創生委員会」と岡部委員長率いる「まちづくり委員会」の2委員会を担当させていただきました。65周年記念事業やうらじゃといった大きな事業も両委員会で担当させていただきました。郷土おかやまがありたいまちになる為にしっかり目的意識を持って事業を行い、またその様な事業や活動を通して委員会メンバー一人一人がしっかり成長できる委員会になるよう一年間取り組んできました。磯島委員長、岡部委員長をはじめ委員会メンバー全員の大活躍によりキッズビジネスパーク、毛利衛氏をお呼びしての65周年記念講演会、そしてうらじゃと、全ての事業が大きな問題もなく成功裏に終わらせていただき、またそれらの事業を通して委員会メンバーが一回り大きくなった姿を見ることもでき両委員長には非常に感謝しております。

最後になりましたが、一年間多くの特別会員、現役会員の皆様に多くのご支援ご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



副理事長 李 大成

岡山青年会議所の65周年目となる年に、久松理事長より交流室担当副理事長を仰せつかり、一年間活動させていただきました。私自身、初の副理事長という役職で大変多くの学びや気づきをいただきました。室内委員会として、野上委員長率いる広報・渉外委員会を担当させていただき、一年を通じて相互理解を持てる場作りや情報の受発信を念頭に活動して参りました。

会員が拡大した事で歴の浅い会員が増えた年ではありますが、友情を育む場や学びの場を様々提供させていただく事で会員相互の心の成長に強く繋がったものと感じております。また65周年記念式典においては岡山青年会議所の歴史を振り返りながら、恥ずかしながら私自身知らなかった過去も勉強させていただき、岡山青年会議所の伝統の凄さをあらためて認識する事が出来ました。

公益社団法人として、公の精神が一段と強みを帯びている現在だからこそ、三信条の一つである「友情」を育む事が「奉仕」の精神を生み、そんな心を培った我々の真摯な行動が公益性を上げるものと信じています。LOMメンバー同士、岡山青年会議所と他LOMやNOM、そして岡山青年会議所とまち、それぞれの相互理解が大切である事を強く意識し、今後に繋げて参りたいと思います。最後に、一年間色んな形で支えてくださったLOMメンバーの皆様、特別会員の皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。



専務理事 宮 武 聡一郎

本年度、久松理事長のもと、専務理事として高見委員長率いる会員拡大特別委員会と小林委員長率います総務委員会を担当させて頂きました。「真歩 ありたい未来を創るために」のスローガンのもと組織の成長を考え、65年の歴史を振り返り、受け継がれてきた伝統、そして真の組織としてありようを考え、未来を見据えた組織運営に取り組んでまいりました。拡大においては、組織の成長を考え全委員会の職務分掌に具体的な数値目標を設定し、LOMメンバーが拡大に取り組むことにより勧誘する側もされる側も多くの学びや気づきが得られ、また、目標達成に向けた実現への難しさや大切さをLOMメンバーが共有できたことは、今後の青年会議所活動の活性化につながるものと確信しております。

また特別会員の皆様には事業実施や会員拡大をはじめ多方面にわたり多大なるご支援とご協力を頂き、そして何よりも深い愛情を持って岡山青年会議所をお支え頂いていることを、専務理事として身にしみて感じさせていただきました。まだ多くの課題を残しておりますが、次代にしっかり引き継ぐと同時に岡山青年会議所の果たすべき使命を全うするべく全力で活動して参ります。最後になりましたが、特別会員の皆様、現役会員の皆様のご厚情に深く感謝とお礼を申し上げ、事業報告とさせていただきます。ありがとうございました。



常任理事 齊 藤 雄一郎

本年度、久松理事長より組織未来室担当常任理事を拝命致し、その重責を強く感じ1年間職務を全うしてまいりました。宮武専務理事よりご指導いただき、高見委員長率いる拡大特別委員会、小林委員長率いる総務委員会と意思を共有し、66年目に繋げる組織の現状を考慮し、未来を見据えた組織運営の実現に取り組んでまいりました。

拡大特別委員会では、積極的な拡大活動やセミナーを開催しながら全力で拡大に取り組むことが出来たと考えております。拡大活動は現在、岡山青年会議所の将来に1番必要な取り組みだと考えております。

総務委員会では、公益社団法人として先輩方が脈々と受け継がれた歴史と伝統を保持し様々な会の設営、将来に向けた資料及び規程の作成や整理を通じ真にあるべき青年会議所の保持、未来に向け安定した組織の基盤を築くことができたと考えております。

組織のことを考え、委員会活動をしていただいた高見委員長、小林委員長をはじめ両委員会のメンバー各位には心から感謝と敬意を表します。

最後になりますが、特別会員の皆様、現役会員の皆様から多大なご指導とご協力を1年間いただきましたこと、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



監事 有 松 林太朗

本年度、久松理事長のもと監事の職務をいただき勤めさせていただきました。私にとって最終年度となるこの一年は、客観的な立場から岡山青年会議所が抱える問題点、今後の方向性など改めて考え直すことのできた貴重な一年でもありました。

監事講評では、入会以来先輩方に教えていただいた岡山青年会議所の古き良き伝統「岡山J Cらしさ」や、あるべき姿を少しでも皆様にお伝えできればと思いお話をさせていただきました。時に苦言や聞き苦しい所もあったかと思いますが、少しでも皆様の為になっていればこの上ない喜びですし、私自信も非常に良いトレーニングとなりました。

最後にこのような経験を与えていただきました久松理事長をはじめとするメンバーの皆様に感謝を申し上げ報告とさせていただきます。



監 事 村 川 智 博

2015年度監事という大役を務めさせて頂き誠にありがとうございました。65周年と言う大きな節目の年であった今年は、諸先輩方が培ってこられた岡山青年会議所の歴史と伝統を改めて認識し合い、後世へと繋いで行くとても重要な一年であったと感じております。

久松理事長の掲げられた『真歩～ありたい未来を創るために～』というスローガンのもと、各委員会の事業は65周年にふさわしい、工夫を凝らしたものが多く、メンバーひとりひとりの65周年への思いが感じられるものばかりでした。

また、会員拡大に関してもLOM一丸となって、本格的に取り組んで来た結果、多くの新会員を迎えることができ、メンバーの皆様には心から感謝いたしております。

ただ、我々岡山青年会議所は会員を維持し存続したい訳ではなく、存続しながら、発展し続けなければなりません。そのためには、新たな挑戦と普遍であるべきことの「調和」を、それぞれの立場の人間がそれぞれの立場で考え、行動に移していく必要があるでしょう。

次年度も監事と言う大役を仰せつかり、その重責を深く受け止めると同時に、岡山青年会議所の「不易とは何か?」「流行とは何か?」と言うことを、監事と言う立場から、メンバーの皆様と一緒に考え、行動に移していき、岡山青年会議所活動に関わる、全ての皆様に実り多き一年になるよう、責務を全うして参りたいと思います。

今年、岡山青年会議所の活動に関わってくださいました、皆様に感謝いたします。一年間ありがとうございました。

Ⅱ 組 織

1. 会 員

(1) 正 会 員

2014年度末会員	64名
2015年度特別会員加入者	15名
2015年度新規入会者	18名
2015年度中途退会者	2名
2016年度特別会員加入予定者	10名
2015年度末会員	70名

退会者 金原 正幸
三宅 寛

休会者 小林 達人

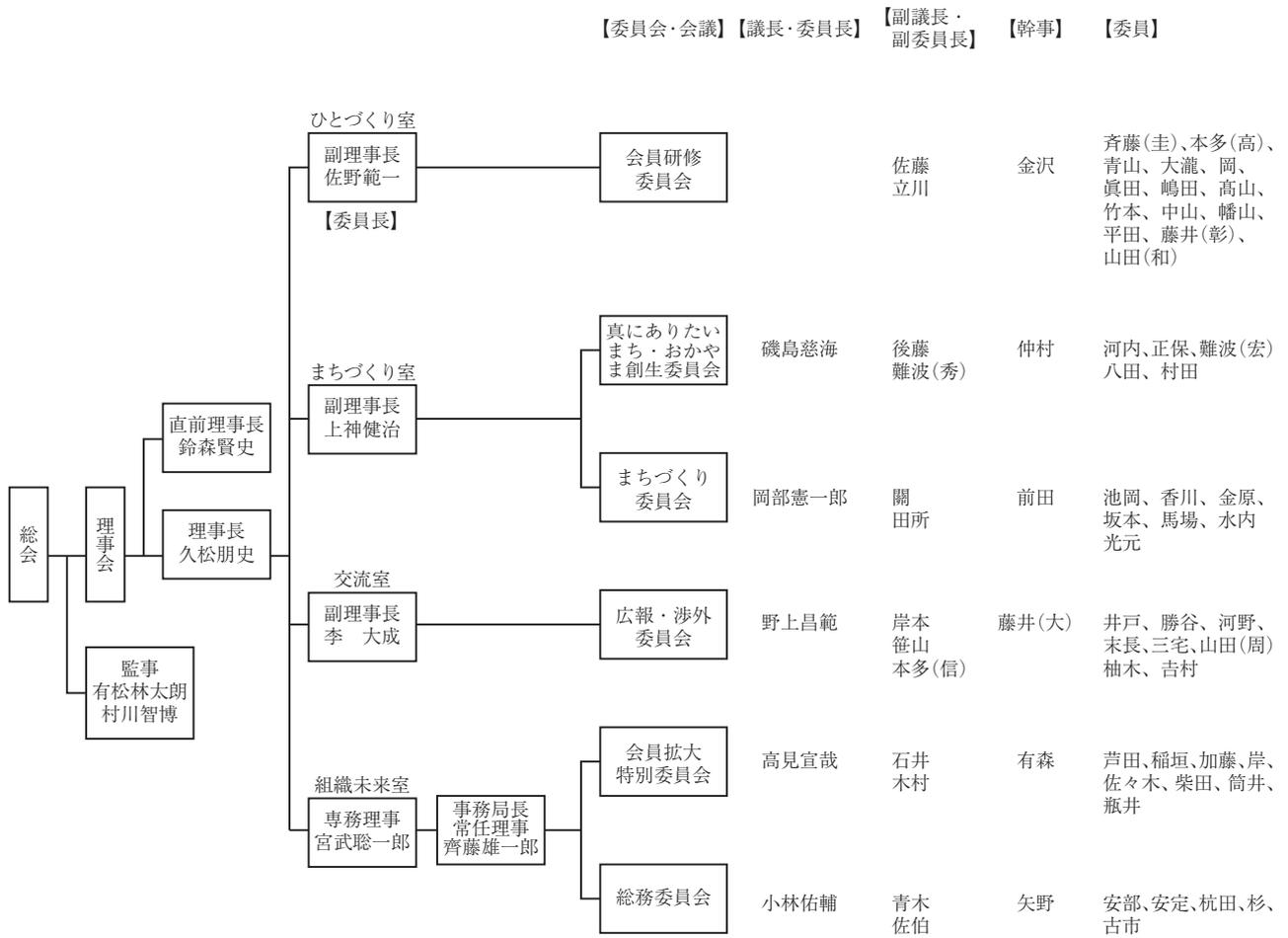
(2) 特 別 会 員

2014年度末会員	725名
2015年度加入者	15名
2015年度物故会員	4名
2015年度末会員	744名
2016年度加入予定者	10名
2016年1月1日会員	754名

物故会員 松田 堯
滝澤 輝治
竹馬 和彦
片山 茂

区分	氏名	勤務先	年/月
前期新規入会者	安部 真良	(株)山脇山月堂 営業部長	2015/1
	香川 陽一	(株)ヒューマングロース 取締役	2015/1
	加藤 高明	賀川法律事務所 弁護士	2015/1
	難波 宏行	(有)難波糸店 専務取締役	2015/1
	瓶井 潔英	(株)アーキスコープ	2015/1
	山田 周作	(有)平成食糧 専務取締役	2015/1
後期新規入会者	青山 雅史	(株)引両紋 代表取締役	2015/7
	大瀧 健嗣	(有)大滝餅 代表取締役	2015/7
	岡 恭弘	(株)三友建装 取締役 管理部長	2015/7
	真田 優作	真田電気設備(株) 代表取締役専務 広島営業所所長	2015/7
	嶋田 昌浩	(株)エコライフジャパン 代表取締役	2015/7
	高山 晃一	高山産業(株) 取締役副社長	2015/7
	竹本 幸史	(株)SWITCH WORKS 代表取締役	2015/7
	中山 友二	弁護士法人後楽総合法律事務所	2015/7
	幡山 益聖	普門院 後任住職	2015/7
	平田 知之	(株)ヒラタ 専務取締役	2015/7
	藤井 彰一	worldexport HAL 代表	2015/7
	山田 和範	サンワサプライ(株) 専務取締役	2015/7
特別会員新規加入者	有松 林太朗	(株)花のアリマツ 代表取締役社長	2016/1
	稲垣 善朗	フェスティバ(株) マネージャー	2016/1
	岸本 恭秀	(株)桃太郎部品 専務取締役	2016/1
	斉藤 圭	(株)柳生園 スクールマネージャー	2016/1
	佐々木 和明	(株)サピックス 取締役部長	2016/1
	鈴森 賢史	ネットトヨタ山陽(株) 専務取締役	2016/1
	立川 誠	(株)BC 代表取締役 (株)シーヴァ 代表取締役	2016/1
	八田 美津子	(有)岡農機商会 取締役	2016/1
	水内 雄一	(株)水内ゴム 代表取締役	2016/1
	吉村 忠道	ウエストジャパン興業(株) 取締役副社長	2016/1

2.2015年度 公益社団法人 岡山青年会議所 組織図



【休会者】 小林(達)、小山

Ⅲ 出 向 者 報 告

公益社団法人日本青年会議所

日中関係構築委員会 会計幹事 青 木 浩 平

「近くて遠い国中国」その言葉の通り日中関係構築委員会に出向させていただいて、感じたのは、今、国同士は難しい関係にありますが、面と向かって合う人と人のつながりは本当に温かい関係があり、これからの両国の民と民の関係は新しいステージに向かっているのだと肌身に感じました。その両国の民の関係づくりの一役を担えたのは本当に誇りに思います。

また、私自身も出向により成長させていただき、一番心に残った言葉は、「出向は時間とお金がある人がやってるのではない。その二つを調整できる能力を持った人たちがやっているんだ」との言葉でした。その言葉の通り、出向して自分が身に付けることが出来たのはその二つであり、今の自分の生き方に大きなプラスとすることが出来ています。

最後になりましたが、この貴重なチャンスをいただいたLOMの皆様へ心から感謝申し上げます。

日中関係構築委員会 委員 岸 本 恭 秀

本年度、日本青年会議所 日中関係構築委員会に委員として出向をさせていただきました。仕事柄、多少の海外取引もあるのですが、中国という国との直接的な関わりは有りそうで無く、色々な情報が飛びかう中で、中国の大局的な見方がよくわからないというのが正直なところでした。しかしながらこの度、出向をさせて頂いたおかげで難しく考える事無く、中国の方々とふれあい、その一片を垣間見れた事は良かったと思います。又、中国の方々をお迎えし日本の文化の「からくり人形」についてお伝えするという事がありましたが、逆に、自国の伝統文化を再認識させられた場面もありました。私事ながら最終年度にこの様な機会を頂戴しまして誠に有難うございました。

日中関係構築委員会 委員 河 内 浩 晃

本年度、公益社団法人日本青年会議所 日中関係構築委員会に委員として出向させていただきました。国際交流と言うことで国外の事業が多かった為、私はあまり参加できていませんが、たくさんの方とも出会わせていただき多くのものを吸収する機会をいただけたと思います。他LOMから出向されている方々のJCに対する情熱や能力の高さも感じましたし、大きな刺激もいただけたと感じております。出向で一年間、学んだ事を今後の活動に役立てていこうと思います。最後になりますが、出向を支えていただきましたLOMメンバーの皆様には深く感謝しております。本当にありがとうございました。

人間力大賞・褒賞委員会 委員 岸 紘 史

本年度、公益社団法人日本青年会議所LOM支援グループ 人間力大賞・褒賞委員会に委員として出向させていただきました。人間力大賞は地域を愛し、地域のために地道な活動を続けている傑出した若者を発掘し表彰する事業です。褒賞は会員会議所が展開している事業に対し名譽をたたえと共に、その素晴らしい事業を全国に広めることにより、青年会議所運動の高揚と地域発展の一助になることを目的とする事業です。このような大きな事業を行う委員会に出向させていただき、事業の達成感と共に分かち合えるかけがえのない仲間と出会えました。また、自己の成長においても大きな経験をさせていただきました。このような機会を与えていただいた理事長をはじめ、岡山青年会議所メンバーの皆様へ心より感謝申し上げます、出向者報告とさせていただきます。ありがとうございました。

人間力大賞・褒賞委員会 委員 八 田 美 津 子

2015年度日本青年会議所人間力・褒賞委員会に出向させていただきました。

私の所属した小委員会のトップは女性でした。とても頭の回転の早く小委員会のメンバーをまとめるのが得意な方でした。そしてトップを支える小幹事もすばらしかったです。前半のほとんどは小委員会100%出席なとても団結力のある小委員会でした。私を含め女性が3名もいる委員会はLOMではまず経験することは出来なかったのもとても新鮮でした。毎月行われる会議で色々な県外に行くことができ翌日に行われるエクスカッションでは各地の観光やおもてなしをしていただきました。ピリピリした緊張感や大変な事もありましたが多くの学びがあり、貴重な経験ができました。

ありがとうございました。

規則審査会議 副議長 齊藤 雄一郎

2015年度規則審査会議に副議長として出向させていただきました。地域グループを担当し地域再興コンテスト、全国大会等の事業における著作権等、つまり法令順守について問題ないか検討し、日本青年会議所活動における法令順守の要になると自負し活動を行い、また、事業における法令順守の重要性を認識することができました。

今回で3回目の出向となり、委員、運営幹事、副議長という役職で、それぞれの立場で見方、考え方、担いが異なり多くの学に繋がりました。

私と共に出向してくれた難波小幹事、井戸委員、光元委員には本当に感謝したいと思います。出向という機会をいただき久松理事長をはじめ岡山青年会議所の皆様に感謝を申し上げます。

規則審査会議 委員 井戸 啓太

2015年度、公益社団法人日本青年会議所規則審査会議に委員として出向させていただきました。

公益社団法人日本青年会議所規則審査会議では、JCIマークの利用方法をはじめ、各LOMの議案がコンプライアンスに違反していないかの精査をさせていただきました。

周りの方々は、理事長を経験された方、今後理事長になられる方、ブロックや地区で役員をやられる方々が多数いらっしゃり、その方々が肩書きを超えて平等に接して下さり色々なお話をして下さいました。

出向させて頂いて自分自身の考え方、世界が広がったように感じます。

一年間という短い時間でしたが全国に気軽に電話できる仲間が出来ました。

出向させて頂きありがとうございました。

規則審査会議 委員 難波 秀明

今年、日本青年会議所・規則審査会議に出向させていただきました。

JCI生活も7年目になると、「JCIライフで初めて」ということはかなり減ってくるのですが、私の場合、昨年までの出向は岡山ブロックまででしたので、日本出向は初めての経験でした。

規則審査会議の主な職務は、事業計画や当日の展示内容のコンプライアンス違反をチェックすることであり、派手さとは無縁なところですが、議案の事前チェックのための勉強会を開いたり、仕事で来られた他LOMのメンバーと岡山で交流したりするなど、一緒に出向させていただいている齊藤副議長のご人徳による、岡山の枠を飛び越えた積極的な交流を楽しませていただいております。

出向が可能な方は、LOMの枠から一歩踏み超えてみるという意味で、チャレンジしていただければと思います。

規則審査会議 委員 光元 俊貴

2015年度 公益社団法人日本青年会議所 総務グループ規則審査会議に委員として出向させていただきました光元俊貴です。規則審査会議は、事業がコンプライアンスに抵触しないかを確認する会議であり、地味な仕事だったと思います。

しかし、事業計画書を確認し、無事に事業がなされるのを見ると嬉しかったです。また、そこへ出向されていられている方々は明るく楽しい人で、「懇親会は不規則審査会議！」を合言葉に、楽しく過ごしました。おかげさまで日本国中にたくさんの友達ができました。

このような出向の機会をいただきました久松理事長と齊藤常任理事、そして岡山青年会議所の皆様にこころよりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

渉外委員会 専務理事保佐 水内 雄一

本年度は総務グループ渉外委員会に山本専務理事補佐として、出向させていただきました。役員をサポートをしながら、理事会などの会議が聴講でき、青年会議所の運動がどのように決められていくかを知ることができました。この様な会議での会頭・専務・顧問などのコメントから、考え方など学ぶことが多かったです。また、46名が在籍する第一小委員会の小幹事という役割をいただき、在籍期間が2年間しかない私にはできなかった幹事業を行うことができました。多数の担いをいただき大変なことも多かったですが、小委員会や委員会の枠を超え何度も助けられ、全国各地に仲間ができました。最後に出向の機会をいただきましたことに感謝申し上げます。

中国地区協議会

副会長 鈴 森 賢 史

本年度、公益社団法人日本青年会議所中国地区協議会に副会長として出向させていただき、会務担当として二つの委員会を担当いたしました。会員資質向上委員会は、中国地区各地でJCIセミナーの開催を支援して、セミナー経験者を大幅に増やすとともに、地区内では数少ないトレーナー育成への一歩を踏み出すことができました。また、LOM支援委員会では、地区内のLOMが抱える様々な問題を解決するための支援を行うとともに、地区コンファレンスで褒章事業を実施しました。両委員会ともに委員長はじめメンバーが目的達成のために大いに情熱を注ぎ、期待を超えるすばらしい成果をあげました。私自身もこれまでにない経験をさせていただき、大きな学びを得ることができました。会長・副会長のほとんどが昨年度の同期理事長ということもあり、多くの中国地区内の同志と切磋琢磨しながら友情を深めることができたことは、私の財産です。LOMメンバーの皆様、そして補佐として共に楽しく支えていただきました佐伯君、池岡君、古市君に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

副会長補佐 池 岡 弘 康

本年度、日本青年会議所中国地区協議会鈴森副会長補佐として、中国地区協議会へ出向させて頂き大変感謝しております。お受けするまでは未知への不安に尻込みをしましたが、久松理事長から「出来るか出来ないかではなく、やるかやらないかで未来が変わる」という後押しを頂き、どうせやるなら一生懸命やろうという思いに変わりました。スポンサーでもある鈴森直前理事長にお共し、近い場所でご教授を頂きながら中国各地の会員会議所へ出向く事により、多くの学びを頂きました。また、中国地区コンファレンスを中核事業に、滞在型観光事業の調査研究、領土問題に関する主権者意識向上事業、JCI公式コースや日本JCI公認プログラムを活用した資質向上事業、中国地区におけるLOM支援活動など、佐々木会長をはじめとされます役員の皆様の実情を真直で感じる事ができ、今後のJC活動への影響は枚挙に暇がありません。多くの方に出会えたこと、今後もご縁が繋がることを心から感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

副会長補佐 佐 伯 和 哉

本年度は中国地区協議会に副会長補佐として出向させていただきました。
鈴森副会長が中国地区協議会の事にのみ集中していただけるよう補佐をさせていただきました。
また、2015年度の中国地区協議会は中国地区からトレーナーを輩出すべくJCIセミナーに力をいれており、JCIアチーブ、JCIインパクト、JCIトレーナー等々のセミナーを役員会議前に開催してありました。私もいくつか受けさせていただきました。とても丁寧に分かりやすく、実践的なことを学ぶことができ、今後のJC活動はもちろん、人生においても非常に有益なものとなりました。
普段のロム活動では、なかなか受ける機会がないかもしれませんが、是非とも皆様も機会を作って受けていただけたらと思います。本年度出向させていただき本当にありがとうございました。

副会長補佐 古 市 聖 一 郎

本年度は中国地区協議会・鈴森副会長のセクレタリーとして出向させていただきました。
残念ながらあまり参加が出来ず、参加できたのは広島JCの新年賀詞交換会を皮切りに数回のみでした。少ない参加の中で感じたことは、各LOMを代表してこられているメンバーの皆様が真剣にこの中国地区協議会について考え、時間を割き取り組んでいる姿勢がすごいということです。また勉強会なども同じJCの会員が教えてくれるのですが、本業の講師のように上手で、年も変わらない同じ境遇の方が普通にそれを行っていることに驚きました。懇親会ではお酒を交えながら互いのLOMのことを話したりして懇親を深めることが出来ました。来年は日本へ出向のチャンスをいただいていますので、今年の経験を生かしてがんばりたいと思います。

地域の未来創造委員会 委員 柚 木 久 生

本年度、中国地区協議会地域の未来創造委員会に委員として出向させていただきました。
今回が私にとって初出向ということもあり当初は不安でいろいろなことを想像していましたが実際に参加してみると非常にやりやすく、楽しく、やりがいを持って取り組むことができました。また岡山JCに対するイメージの客観的なご意見などもいただきました。ASPAC・地区コンファレンス・世界会議などでブース出展という場をお借りして中国地方内でどんな連携ができるか、他の地域はどんな手法で地域の良さをPRしているかなどいろいろ勉強させていただきながら取り組むことができ非常に有意義なものとなりました。LOMの中だけでは体験できない貴重な出会いや場を頂き本当にありがとうございました。

岡山ブロック協議会

監査担当役員 有 松 林 太 朗

本年度公益社団法人中国地区岡山ブロック協議会に監査担当役員として出向させていただきました。

私にとっては最終年度にこのような大役を拝命しとても充実したラストイヤーを過ごすことができました。

田中会長の強いリーダーシップのもとすべての所会議に参加させていただき他L O Mから出向されているメンバーとの協議をする中で現在の岡山県内15青年会議所の考え方や悩みそして目指す方向などをリアルに聞く事ができ青年会議所におけるブロック協議会の役割を改めて感じる事ができました。

そしてスローガンにもあります「郷土愛溢れる自立自活した岡山の再興」を基とし全ての事業が全う出来たと思います。

最後となりますが、出向の後支えをいただいた久松理事長をはじめといたしますL O Mメンバーの皆様、特に石井幹事、柴田幹事のご厚情に感謝するとともに心より御礼申し上げます。

監査担当役員幹事 石 井 聖 至

本年度、公益社団法人日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会、監査担当役員幹事として初めての出向をさせていただきました。

初めての経験でしたが、有松監査担当役員の下、岡山ブロック協議会の役員会議などにオブザーブとして出席させていただきました。

参加するたびに、多くの方と出会い、様々な考え方を得ることができました。

また、岡山青年会議所とは違った雰囲気を味わえたことも、私にとって大きな学びとなりました。

このような貴重な経験をさせていただきました、久松理事長をはじめとするL O Mメンバーの皆様と、多くのことを教えていただきました有松監査担当役員に感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

監査担当役員幹事 柴 田 収

今年度、公益社団法人日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会に、監査担当役員付幹事として出向させていただきました、柴田です。

有松監査と行動をとることで、歴の浅い自分は多くのことを学ぶことができました。そして、ブロック役員会議や会員会議所会議を見続けることで、ブロックの意思決定がどのようになされるのか、その中で岡山青年会議所がどのような役割を担っているかを知ることができました。また、ブロック出向したことご縁で、憲法事業にパネリストとして出席させていただき、元航空幕僚長の田母神俊雄氏と討論をする機会もいただきました。

当初は軽い気持ちで引き受けた出向ですが、多くのことを得ることが出来ました。皆様も機会があれば積極的に出向をしていただければと思います。

総務委員長連絡会議 副議長 木 村 治 貴

本年度は、公益社団法人日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会 総務委員長連絡会議へ副議長として出向させていただきました。本年度は、総務委員長連絡会議の事業として、岡山県内の各青年会議所に直接お邪魔をし、事業取材を行わせていただきました。他L O Mの事業の目的や実施に至った背景、苦労や楽しさ、さまざまなお話を直接お伺いする事で、入会4年目の私にとって、とてもよい刺激や学びを得る事ができました。初の岡山ブロックへの出向という事もあり、新たな友情も育む事ができました。

この充実した岡山ブロックへの出向をさせていただき、ご支援いただきました、久松理事長、L O Mメンバーの皆様にご挨拶申し上げます。1年間ありがとうございました。

総務委員長連絡会議 委員 後 藤 学

今年度、公益社団法人日本青年会議所 岡山ブロック協議会 総務委員長連絡会議 委員として出向させていただきました。事務局員会議の設営、岡山県他L O Mの取材、またメンバー間の交流などを通して、岡山青年会議所とは違う各ロムの事業の進め方、各L O Mの気質などを深く知ることができ、多くの気づきを得ることができました。また、岡山以外のメンバーで新しく仲間ができ、新たな繋がりを作ることができました。このような貴重な機会をいただきまして感謝申し上げます。出向者報告とさせていただきます。

真のリーダー育成委員会 副委員長 立川 誠

本年度、岡山ブロック協議会 真のリーダー育成委員会の副委員長として出向させていただきました。他L O Mの皆さまと一緒に活動をするという中で改めて岡山青年会義所の意識の高さを感じ、それと同時に、より岡山のリーディングL O Mとしての責任を感じさせていただきました。この出向で得た自分の気づきや学びをL O M内でも発信し、また自己成長にもつなげていきたいと思います。また、本年度のブロック委員会事業の中でブロックアカデミーという体験型の新会員研修プログラムがありました。例年には試みの無い蒜山三座を各L O M混合チームでトレッキングするという内容で現地調査含み委員会メンバーも色々な気づきを得て設営する側も大変良い研修であったと思います。この様な新しい事に挑戦する事で次年度以降も更なる成長につながればと思います。最後に出向に関しまして、機会とご支援をいただきましたL O Mメンバーの皆さまに感謝申し上げ、出向者のご報告とさせていただきます。本当に一年間ありがとうございました。

真のリーダー育成委員会 委員 斉藤 圭

本年度は、岡山ブロック協議会 真のリーダー育成委員会の委員として出向させていただきました。真のリーダー育成委員会は研修と拡大系の委員会です。真のリーダーを育成する委員会に出向させていただいたので、模範となるように委員会や事業には積極的に参加させていただきました。委員会のメンバーは前向きな人ばかりで学ぶべきところがたくさんありました。事業では結構、大変なこともありますが、委員会のメンバーとは本当に仲良くなれて、本年度が終わるのがとても寂しいです。本当に良い機会を与えていただき感謝しております。一年間ありがとうございました。

郷土愛醸成委員会 委員 笹山 勇二

岡山ブロック協議会に本年度、初めて出向させていただきました。
出向させていただきました思うことは、今まで交流の無い他L O Mメンバーとの他L O Mの話や事業の話などたくさんの学びができました。
また他L O Mメンバーの仲間ができました。
ご支援いただいたL O Mメンバーの皆様、誠にありがとうございました。

郷土愛醸成委員会 委員 吉村 忠道

岡山ブロック協議会に本年度で2回目の出向をさせていただきました。郷土の愛を醸成するという委員会名称のとおり、岡山の魅力をどのように発信していくかを考える委員会でした。当委員会では、総社市で開催された岡山ブロック会員大会にて、倉敷芸術科学大学で教授として活躍されている濱家輝雄先生による講演を企画・設営させていただきました。
出向して思うことは、やはり他L O Mメンバーとの交流です。様々な職種やL O M内での役職を経験されている方々と肩を並べ、一緒に目的に向かい切磋琢磨することができることです。前回以上により多くの仲間ができ、また交流を広げることができました。
最後に岡山ブロック協議会への出向に関しまして、ご支援いただいたメンバーの皆様にご報告とさせていただきます。ありがとうございました。

国家憲法確立委員会 副委員長 佐藤 史成

本年度、公益社団法人日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会 国家憲法確立委員会の副委員長として出向させていただきました。岡山ブロック協議会への出向は二度目でしたが委員会メンバーとしてまた副委員長としての出稿は初めてでした。以前に出稿させていただいたときより委員会での活動を通じて多くの岡山ブロックメンバーと出会い、多くの学びをいただきました。副委員長として出向させていただいた経験を今後の青年会議所活動に生かしていきます。最後にご支援いただきましたL O Mメンバーの皆様にご報告とさせていただきます。

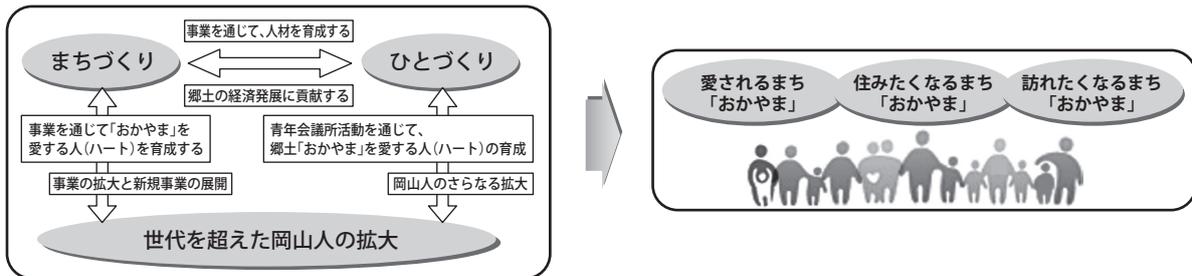
長期ビジョンスローガン

心から心の育成 ハートtoハート『おかやま』

～世代を超えた岡山人の伝承へ～

岡山青年会議所は事業を通じて、岡山人育成に力を入れていきました。岡山人育成の活動を広げていくためには、その活動を多くの人に理解してもらうことが重要です。今後は、岡山人のハート（心）に訴え、世代を超えて育成することが必要であると考えております。

長期ビジョンの考え方



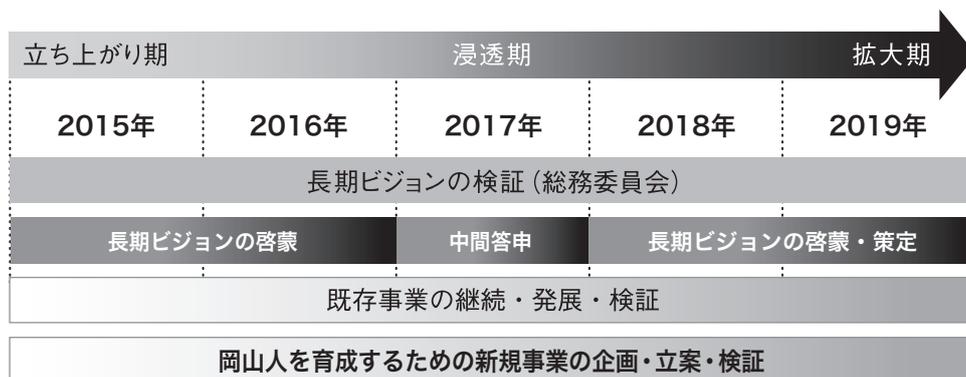
ひとづくり

青年会議所活動を通じて、岡山青年会議所会員自身の成長の場として活動し続け、郷土『おかやま』の発展のために行動できる人材の育成、また、青年会議所活動を経験した人材を輩出さまざまな世代で活躍する人材の育成に繋がります。そして、郷土『おかやま』を愛する心を持つ者「岡山人」として様々な場面で世代の枠を超えた活動を共に展開する事により、世代を超えた「岡山人」の拡張、伝承を目指します。

まちづくり

青年会議所運動で培った能力を発揮して多くの「岡山人」と係わり、世代を超えた『おかやま』を愛する人（ハート）との繋がりを拡張、育成を積極的に行います。また、郷土に思いのある方々と連携を行い、今まで以上に広がりのあるまちづくり事業を展開する事を目指します。

長期ビジョンアクションプログラム



- 年間10名以上の純増を目指し、2019年当初120名の会員を得ることを目標とする。
- 市民・他団体との連携を模索しつつ事業の企画・運営を行う事により、様々な世代との交流を通して『岡山人』育成の一助とする。
- 「うらじゃ」への協力を行う。

※ビジョン推進会議の設置

2017年に中間答申として2015年、2016年における事業に対する検証を行う。
2018年、2019年に新長期ビジョン策定のためのビジョン推進会議を設置する。

※長期ビジョンの検証

事業計画書に長期ビジョンとの合致点、事業報告書に長期ビジョン達成した点、達成しなかった点について記載し事業後の検証を行う。また、全事業終了後に総務委員会にて長期ビジョンの検証を行う。

Ⅳ 委員会活動報告

真にありたいまち・おかやま創生委員会

磯 島 慈 海

真にありたいまち・おかやまの創生を目指して活動を行う中で、委員会メンバーは公益社団法人として岡山青年会議所がどのよう
にまちへ影響を与えて行くべきかを考え、勉強し、実践を続けた一年となりました。

「創立65周年記念講演会」は難波副委員長に担当していただき、毛利衛氏をお迎えして子どもたちが抱く夢を実現するためにど
うすべきか講演をしていただき、目標に向かって一歩を踏み出すことの大切さを知っていただくことができました。また、協賛をい
ただいた特別会員の方や地元企業の皆様にはたいへんご尽力をいただき、1000枚予定していたチケットは完売して、多くの子
どもたちに参加していただくことができ、講演終盤の質疑では想像を超えるたくさんの挙手があり、たくさんの子どもの心に残った
と思います。

後藤副委員長に担当していただいた「キッズビジネスパーク」では、参加した児童が各種職業に触れることで、将来の職業を考
えていただくと共に、新たな道を発見していただく機会となりました。そして、行政、学校、企業と力を合わせて実施することでより
効果を高めることができたと思えます。何より、公益社団法人に移行して初めて外部から助成金を認可いただけたことは、岡山青年
会議所が公益団体として認知していただけた証左として大きな前進になったと考えています。

今年度の事業の本当の成果は子どもたちが大人になって初めて分かるものばかりです。10年後、20年後に今年の委員会メンバ
ーで集まり事業の検証を行い、次世代の真にありたいまち・おかやまのことをまだまだ考えて参りたいと思います。

この様な機会を与えていただきました久松理事長、本年度の活動にご協力をいただきました皆様、そして、委員会をご指導いた
だきました上神副理事長に心より感謝を申し上げます。今年度の活動を糧に今後も後藤副委員長、難波副委員長、仲村幹事、河内委員、
正保委員、難波委員、村田委員、八田委員は邁進して参ります。

まちづくり委員会

岡 部 憲 一 郎

本年度久松理事長の掲げる「真歩～ありたい未来を創るために～」のローガンのもとまちづくり委員会は「第22回うらじゃ」[う
らじゃ開催支援広告募集事業]「さよなら例会」の事業を行いました。「第22回うらじゃ」においては総務・広報部会として本祭運
営に携わせて頂き、県内最大のお祭りの運営の仕方などを学ぶとともに、市や警察との折衝を繰り返す中でまちづくり事業として
の進め方など普段の生活では経験できない貴重な事を委員会メンバーに学んで貰えました。「うらじゃ開催支援広告募集事業」の中
では、岡山県内外の企業の皆様に広告を出す形でご協力を頂くことで、祭りと企業を結びつけ、郷土岡山のお祭りを一層盛り上げる
手助けが出来たと考えています。うらじゃ振興会においても事務局として携わせて頂き、地域振興の動きなどを学ぶことが出来ま
した。「さよなら例会」では卒業される皆様に青年会議所活動の中で学んだ事、思いなどを残る現役会員に伝えて頂き、今後の活動
について改めて考えることのできる場を創出出来たのではないかと考えます。

最後に迷った時には優しく手を差し伸べて頂きました諸先輩方、激励を頂きました現役の皆様へ御礼申し上げ委員会事業報告とさ
せて頂きます。一年間本当にありがとうございました。

広報・渉外委員会

野 上 昌 範

本年度、広報・渉外委員会では久松理事長の掲げられた「真歩 ありたい未来を創るために」のローガンのもと、委員会活動を
一年間取り組んで参りました。

広報活動として、岡山青年会議所でおこなわれる事業はもちろん、県内外、海外事業にも参加をして、現地で感じたことをフェ
イスブックで拡散することで、多くの方々に閲覧していただく事ができました。また、ホームページと暖流では事業告知・事業報告
を迅速に掲載することで多くの方々に見ていただく事ができ、多くの事業に参加を促すことが出来たと感じております。久松理事長
を始めとされます、各委員会の皆様には、事業活動の情報提供にご協力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

また、渉外活動として、出向者支援LOMナイトでは目的をしっかりと伝える事で多くのメンバーに参加をしていただく事が
でき、出向者の慰労と激励をおこなう事ができました。ブロック会長公式訪問例会では岡山青年会議所らしくメリハリのある例会と
懇親会をおこなうことが出来ました。各友好LOMとの交歓会ではメンバーの皆様の協力をいただき、一体感のあるおもてなしが
できました。創立65周年記念式典・祝賀会では多くの特別会員にご参加いただき、65年の歴史を振り返る事で過去を学び、更
には今後の歩みについて考えさせていただける会となり大変貴重な事業となりました。AS PAC、県外事業ではいつも多くのメンバ
ーにご参加いただき、懇親を深める事ができました。また、追出し旅行では、50年卯年生まれの皆様を多くの特別会員の皆様とと
もに、姫路の地にて気持ちよくお送りする事ができました。

一期一会の精神を第一に考え様々な事業に取り組んで参りましたが、真剣に考え、積極的に事業に取り組むことで委員会メンバ
ーにとって、大きく成長できた一年になりました。多くの事業を無事に終える事が出来たのは参加していただきましたLOMメンバ
ーの皆様のお蔭です。一年間ご協力いただきましてありがとうございました。

最後になりますが、このような経験をさせて下さいました久松理事長、また厳しくも優しく、いつも叱咤激励をして応援して下さい
ました李副理事長、一年間支えてくれました委員会メンバーの皆様へ心から感謝を申し上げます。活動報告とさせていただきます。一年
間本当にありがとうございました。

会員拡大特別委員会

高見 宣哉

本年度、久松理事長のもと、会員拡大を第一義として活動して参りました。

新年賀詞交換会では、これから岡山青年会議所の歩むべき道を意識した設営とともに、会員拡大についてご協力をお願いしました。加えて、特別会員の皆様がお集まりになる会に参加させていただき、ご紹介やご支援を賜り、入会に繋がった会員もいます。

10月例会・ビジネスセミナーでは元リッツカールトン日本支社長の高野登氏をお迎えし、営業力やマネジメントをテーマにご講演いただきました。多くの方にご参加いただき、知識の向上はもとより、岡山青年会議所と会員について知っていただく機会となりました。また、本セミナーを開催するにあたり、事業承継や決算書、助成金といった身近なテーマのセミナーと交流会を年間で4回行うことで、関係の構築を継続し、入会に繋げて参りました。

会員拡大に注力させていただいたことで、委員会メンバー一同、様々な学びや気づきを得ることができました。そして多くの新会員が入会したことは岡山青年会議所が一丸となって会員拡大を推し進めることができた結果に他なりません。

最後になりますが、久松理事長をはじめ執行部理事の皆様、一年間ご支援し続けてくださった宮武専務理事、齊藤常任理事、会員拡大にお力添えとご尽力をいただいた特別会員・現役会員の皆様、そして私自身を支えてくれた委員会メンバーの皆様に心から感謝申し上げます。活動報告とさせていただきます。本当にありがとうございます。

総務委員会

小林 佑輔

本年度、久松理事長より総務委員会理事委員長を仰せつかり、岡山青年会議所の65年の歴史と伝統を感じながら、一年間組織運営をさせていただきました。担当する事業等はありませんでしたが、公益社団法人格を取得し3年が経ち、公に資する組織としての在り方を確立させていく大切な1年の意義を委員会メンバーと共に考え、活動をさせていただきました。予定者段階より、副委員長を中心に役割分担をしっかりと行い、決めたスケジュールのもと円滑に本年度を迎える準備を行うことができました。また、例会会場の変更等もあり、理事会や総会の設営を含め苦慮することもありましたが、委員会メンバーが自分の役割を全うし、円滑な運営ができたものと確信しております。これも、宮武専務理事、齊藤常任理事のご指導の下、真の組織とは何かを追求し活動ができたからこそだと感じています。組織を支える大切さ、未来を見据えた運営の難しさを体感しながら一年間やり抜くことができ、委員会メンバー一人一人も大きく成長をさせていただくことができました。今年一年共に活動した委員会メンバーには、心の底から感謝をいたします。メンバー共々、総務委員会として学んだ経験を、来年度以降もしっかりと活かして参ります。

最後になりましたが、一年間、特別会員、現役会員の皆様に多くのご支援ご協力を賜りましたこと、感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

V 会 議

1. 総 会

■第1回定時総会

開 催 日 時：2015年3月5日（木）

開 催 場 所：えきまえミヨシノ

総 会 員 数 73名（内休会者3名）

出席した会員数 63名

内 訳 本 人出席 63名

委任状出席 7名

【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2014年度 事業報告（案）の件
2号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2014年度 決算報告（案）の件
3号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2015年度 修正予算（案）の件

■第2回定時総会

開 催 日 時：2015年7月2日（木）

開 催 場 所：福武ジョリービル

総 会 員 数 82名（内休会者2名）

出席した会員数 69名

内 訳 本 人出席 69名

委任状出席 11名

【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2016年度 理事選任及び理事長の推薦（案）に関する件

■第3回定時総会

開 催 日 時：2015年7月16日（木）

開 催 場 所：福武ジョリービル

総 会 員 数 82名（内休会者2名）

出席した会員数 69名

内 訳 本 人出席 69名

委任状出席 11名

【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2016年度 理事及び監事の選任、並びに執行部理事の推薦（案）に関する件

■第4回定時総会

開 催 日 時：2015年8月6日（木）

開 催 場 所：福武ジョリービル

総 会 員 数 82名（内休会者2名）

出席した会員数 69名

内 訳 本 人出席 69名

委任状出席 11名

【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2016年度 理事の選任（案）に関する件

■第1回臨時総会

開 催 日 時：2015年9月3日（木）

開 催 場 所：福武ジョリービル

総 会 員 数 82名（内休会者2名）

出席した会員数 68名

内 訳 本 人出席 68名

委任状出席 12名

【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 定款変更（案）に関する件
2号議案 公益社団法人岡山青年会議所 会員資格規定変更（案）に関する件

■第5回定時総会

開催日時 2015年12月22日(火)
開催場所 岡山プラザホテル
総会員数 80名(内休会者1名)
出席した会員数 70名
内訳 本人出席 70名
委任状出席 9名

【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2016年度 監事選任(案)に関する件
2号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2016年度 事業計画(案)に関する件
3号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2016年度 収支予算(案)に関する件
4号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2016年度 組織図(案)に関する件

2. 理事会

■第1回 執行部・理事合同会議

日時:2015年1月7日(水) 19:00~21:00
場所:JCルーム
審議事項

- (1) 2015年度前期入会者6名入会(案)に関する件
- (2) 会員資格規定 第2章第3条第4項に基づく推薦者3名以上の推薦(案)に関する件

■第2回 理事会

日時:2015年2月17日(火) 19:00~21:00
場所:JCルーム
審議事項

- (1) 公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 出向者(案)に関する件
- (2) 公益社団法人岡山青年会議所 2014年度決算資料(案)に関する件
- (3) 公益社団法人岡山青年会議所 2015年度修正予算資料(案)に関する件
- (4) 公益社団法人岡山青年会議所 2014年度事業報告書(案)に関する件

■第3回 理事会

日時:2015年3月17日(火) 19:00~21:00
場所:JCルーム
審議事項

- (1) 新年賀詞交換会の事業報告(案)に関する件
- (2) 4月花見例会の事業計画(案)に関する件
- (3) 65周年記念講演会の事業計画(案)に関する件
- (4) うらじゃ開催支援広告協賛募集事業の事業計画(案)に関する件
- (5) 特定費用準備資金取扱規程(案)に関する件
- (6) 特定費用準備資金積立の事業計画(案)に関する件

■第4回 理事会

日時:2015年4月21日(火) 19:00~21:00
場所:JCルーム
審議事項

- (1) 真にありたいまち・おかやま創生プロジェクトの事業計画(案)に関する件

■第5回理事会

日時:2015年5月19日(火) 19:00~21:00
場所:JCルーム
審議事項

- (1) 創立65周年事業記念講演会の事業計画(案)に関する件

■第6回 理事会

日時：2015年6月9日（火） 19:00～21:00

場所：えきまえミヨシノ

審議事項

- (1) 休会者の復会並びに配属（案）に関する件
- (2) 前期新会員の後期委員会配属（案）に関する件
- (3) 2015年度組織図（案）に関する件
- (4) 創立65周年記念式典・祝賀会の事業計画（案）に関する件
- (5) 旭川さくらみちの桜を守る会寄付に関する件

■第7回 理事会

日時：2015年7月2日（木） 16:00～18:00

場所：福武ジョリービル

審議事項

- (1) 公益社団法人岡山青年会議所 2015年度後期の入会審議（案）に関する件
- (2) 会員資格規定 第2章第3条第4項に基づく推薦者3名以上の推薦（案）に関する件
- (3) 創立65周年記念式典・祝賀会の事業計画（案）に関する件
- (4) 旭川さくらみちの桜を守る会寄付（案）に関する件

■第8回 執行部・理事合同会議

日時：2015年7月16日（木） 16:00～18:00

場所：福武ジョリービル

審議事項

- (1) 2016年度執行部（案）に関する件
- (2) 投票によって選任される理事の定数（案）に関する件
- (3) 公益社団法人岡山青年会議所 2015年度後期の入会審議（案）に関する件
- (4) 会員資格規定 第2章第3条第4項に基づく推薦者3名以上の推薦（案）に関する件
- (5) 岡山県親守詩セミナーの名義貸し後援（案）に関する件

■第9回 理事会

日時：2015年8月4日（火） 19:00～21:00

場所：JCルーム

審議事項

- (1) 10月ビジネスセミナーの事業計画（案）に関する件

■臨時理事会

日時：2015年8月6日（木） 17:00～17:30

場所：福武ジョリービル

審議事項

- (1) 10月ビジネスセミナーの事業計画（案）に関する件

■第10回 執行部・理事合同会議

日時：2015年8月25日（火） 19:00～21:00

場所：JCルーム

審議事項

- (1) 公益社団法人岡山青年会議所 定款変更（案）に関する件
- (2) 公益社団法人岡山青年会議所 会員資格規定変更（案）に関する件

■第11回 理事会

日時：2015年9月15日（火） 19:00～21:00

場所：JCルーム

審議事項

- (1) 会費未納による除籍（案）に関する件
- (2) 創立65周年記念事業の事業報告（案）に関する件

- (3) 名義貸し後援の事業計画（案）に関する件
- (4) 理事長公職追加の事業計画（案）に関する件

■第12回 執行部・理事合同会議

日時：2015年10月13日（火） 15：00～17：00

場所：JCルーム

審議事項

- (1) 岡山市民文化大学の名義貸し後援（案）に関する件

■第13回 執行部・理事合同会議

日時：2015年10月27日（火） 19：00～21：00

場所：JCルーム

審議事項

- (1) さよなら例会の事業計画（案）に関する件

■第14回 執行部・理事合同会議

日時：2015年11月18日（火） 13：30～15：30

場所：JCルーム

審議事項

- (1) 創立65周年記念式典・祝賀会の事業報告（案）に関する件

■第15回 執行部・理事合同会議

日時：2015年12月8日（火） 18：00～20：00

場所：JCルーム

審議事項

- (1) 休会者の復会並びに配属（案）に関する件
- (2) キッズビジネスパークの事業報告（案）に関する件
- (3) うらじゃ開催支援広告協賛募集事業の事業報告（案）に関する件
- (4) 創立65周年記念式典・祝賀会の事業報告（案）に関する件
- (5) 10月ビジネスセミナーの事業報告（案）に関する件
- (6) 公益社団法人岡山青年会議所 2016年度基本資料（案）に関する件

VI 例 会

開催日	会 場	出席者	記 事
1月14日	岡山国際ホテル	64名	特別会員・現役会員合同新年賀詞交換会 新会員バッジ授与式
2月12日	えきまえミヨシノ	54名	新会員3分間スピーチ 新会員コミュニティ
3月 5日	えきまえミヨシノ	63名	第1回定時総会
3月26日	えきまえミヨシノ	58名	ブロック会長公式訪問例会
4月 5日	岡山衛生会館	48名	花見例会
5月13日	えきまえミヨシノ	58名	講師例会 社会保険労務士 上村 明子氏
6月18日	えきまえミヨシノ	67名	配属コミュニティ
7月 2日	福武ジョリービル	70名	第2回定時総会（次年度理事長推薦） 新会員バッジ授与式
7月16日	福武ジョリービル	73名	第3回定時総会（次年度執行部推薦） 理事選挙チャレンジスピーチ
8月 6日	福武ジョリービル	72名	第4回定時総会（次年度理事委員長推薦） 新会員3分間スピーチ
9月 3日	福武ジョリービル	68名	第1回臨時総会 新会員コミュニティ
10月15日	ラヴィール岡山	66名	講師例会 ビジネスセミナー 人とホスピタリティ研究所 代表 高野 登氏
11月12日	ルネスホール	74名	出向者報告
12月10日	福武ジョリービル	75名	さよなら例会
12月22日	岡山プラザホテル	70名	第5回定時総会

Ⅶ 諸 事 業

開 催 日	記 事
1月 7日	新年参拝（最上稲荷）
1月 8日	新年挨拶廻り
1月14日	新年賀詞交換会（岡山国際ホテル）
1月22日～25日	京都会議（京都国際会議場）
2月 5日	歴代理事長会議（荒手茶寮）
3月26日	岡山ブロック協議会会長公式訪問例会（えきまえミヨシノ）
3月28日	岡山ブロック協議会新会員研修会（岡山プラザホテル）
4月 6日	さくらカーニバル後の清掃（旭川河川敷）
4月17日	ビジネスフレンドセミナー（サムライスクエア）
5月 2日	岡山ブロック協議会憲法事業（岡山国際会議場）
5月14日	岡山ブロックじゃがいも大会（新見）
5月24日	第64回岡山ブロック懇親野球大会（玉島）
5月27日	ビジネスフレンドセミナー（サムライスクエア）
6月 5日	大阪J C・岡山J C交歓会
6月 7日	親睦事業（レスパール藤ヶ鳴）
6月11日～14日	A S P A C（マレーシア）
6月28日	岡山ブロック大会（総社）
7月 4日	創立65周年記念講演会（岡山市民会館）
7月18日～19日	サマーコンファレンス（横浜）
8月 1日～2日	第22回うらじゃ
8月 9日	中国地区コンファレンス（呉）
8月15日	観光地クリーン運動（岡山城周辺）
8月29日	キッズビジネスパーク（岡山ふれあいセンター）
9月 9日	高松J C・岡山J C交歓会（岡山）
9月17日	創立65周年記念式典（ANAクラウンプラザホテル）
9月24日～27日	全国会員大会（八戸）
10月 7日	津山J C・岡山J C交歓会（津山）
10月15日	ビジネスセミナー（ラヴィール岡山）
10月21日	広島J C・岡山J C交歓会（広島）
11月18日	岡山ブロックJCOB会（岡山国際ホテル）
11月21日	50年生追い出し旅行（姫路）
11月28日	ブロック本今年度合同引継ぎ（岡山プラザホテル）
12月10日	さよなら例会（福武ジョリービル）
12月22日	クリスマス家族会 ここにしかないX'mas ～届けたい！ 感動と感謝～（岡山プラザホテル）

VIII 褒 賞 関 係

1. 褒章委員会

最優秀賞 会員拡大特別委員会、総務委員会

2. 100%例会出席者

【執行部】

久松 朋史、鈴木 賢史、有松林太郎、村川 智博、上神 健治、李 大成、
佐野 範一、宮武聡一郎、齊藤雄一郎

【会員研修委員会】

佐藤 史成、立川 誠、金沢 竜志、齊藤 圭、本多 高明

【真にありたいまち・おかやま創生委員会】

磯島 慈海、後藤 学、難波 秀明、仲村 陽平、正保 宏倫、難波 宏行、
八田美津子

【まちづくり委員会】

岡部憲一郎、田所 敦史、前田 淳、池岡 弘康、香川 陽一、水内 雄一、
光元 俊貴

【広報・渉外委員会】

野上 昌範、岸本 恭秀、藤井 大温、井戸 啓太、吉村 忠道

【会員拡大特別委員会】

高見 宣哉、石井 聖至、木村 治貴、有森 文紀、芦田香奈子、加藤 高明、
岸 紘史、佐々木和明、柴田 収、瓶井 潔英

【総務委員会】

小林 佑輔、青木 浩平、矢野 大輔

VIII 褒 賞 関 係

1. 褒章委員会

最優秀賞 会員拡大特別委員会、総務委員会

2. 100%例会出席者

【執行部】

久松 朋史、鈴木 賢史、有松林太郎、村川 智博、上神 健治、李 大成、
佐野 範一、宮武聡一郎、齊藤雄一郎

【会員研修委員会】

佐藤 史成、立川 誠、金沢 竜志、齊藤 圭、本多 高明

【真にありたいまち・おかやま創生委員会】

磯島 慈海、後藤 学、難波 秀明、仲村 陽平、正保 宏倫、難波 宏行、
八田美津子

【まちづくり委員会】

岡部憲一郎、田所 敦史、前田 淳、池岡 弘康、香川 陽一、水内 雄一、
光元 俊貴

【広報・渉外委員会】

野上 昌範、岸本 恭秀、藤井 大温、井戸 啓太、吉村 忠道

【会員拡大特別委員会】

高見 宣哉、石井 聖至、木村 治貴、有森 文紀、芦田香奈子、加藤 高明、
岸 紘史、佐々木和明、柴田 収、瓶井 潔英

【総務委員会】

小林 佑輔、青木 浩平、矢野 大輔